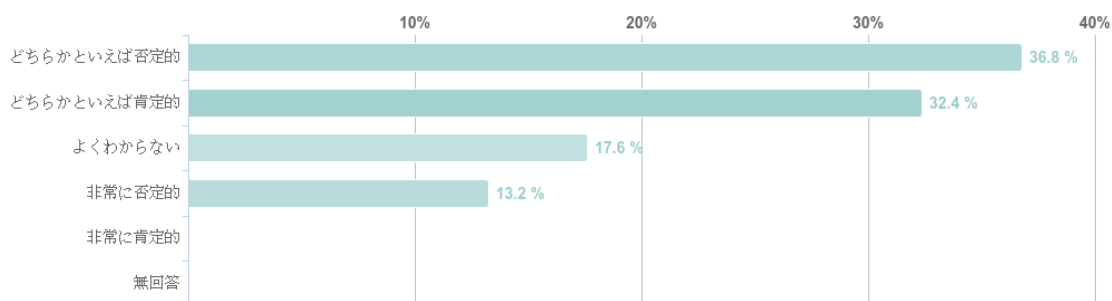


2025 年12月アンケート(2025 年12月11日～31 日実施)

ダイレクトリクルーティングに関する意識調査

ここ 10 年ほどの間で、新卒採用においても存在感が増しているダイレクトリクルーティングについて、期待や懸念など、日頃学生に接している皆様に、率直なご意見をお伺いしました。企業と学生だけに任せるのではなく、間に学校様が入ることにより、安心してご活用いただける就活手法の創出に向けて、貴重なご意見を頂戴することができました。当月も多くの学校様にご協力いただき誠にありがとうございました。

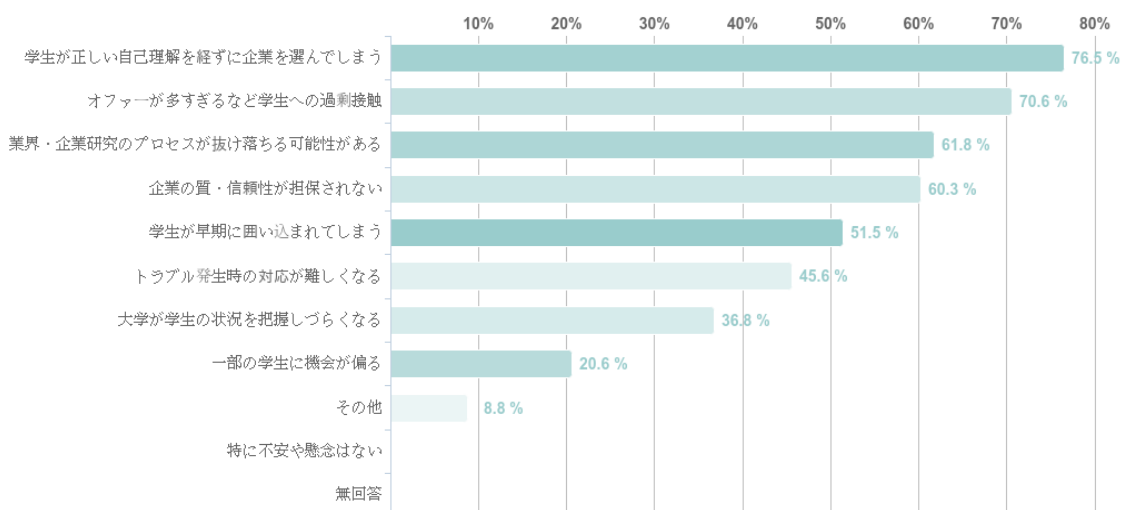
Q.ダイレクトリクルーティング全般に対する現在の印象について



<サマリー>

「どちらかといえば否定的」が「どちらかといえば肯定的」を上回りましたが、その差は 5 ポイント弱という結果になりました。近年、学生の就職活動におけるダイレクトリクルーティングの利用機会自体は増加しているものの、学校様から見たダイレクトリクルーティングの印象は否定的がやや多く、評価が分かれているようです。

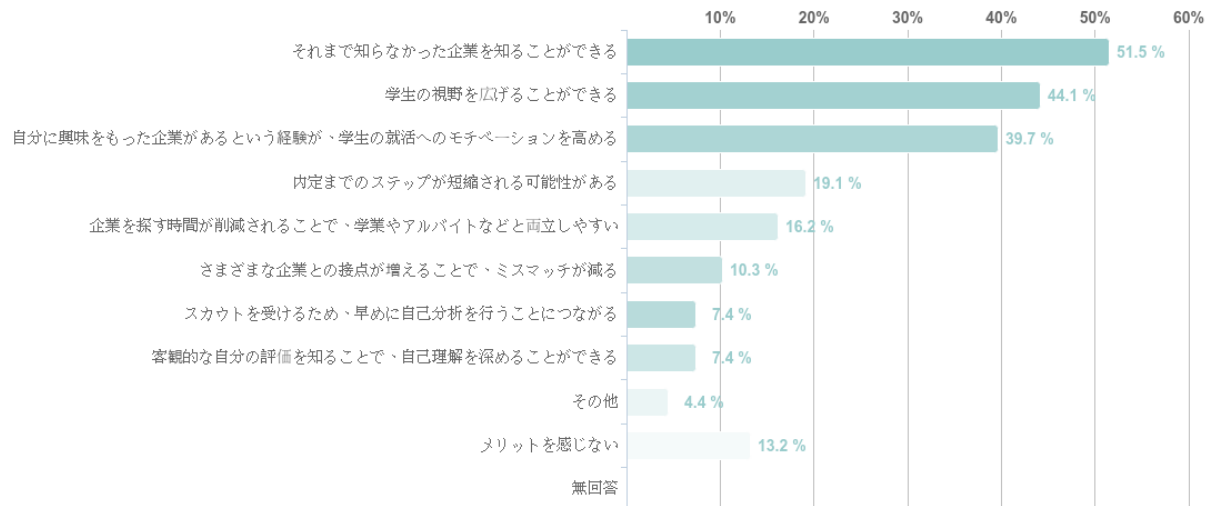
Q.「不安」もしくは「懸念」を感じる点



<サマリー>

「学生が正しい自己理解を経ずに企業を選んでしまう」「オファーが多すぎるなど学生への過剰接触」「業界・企業研究のプロセスが抜け落ちる可能性がある」が上位に。まだ成熟していない学生が企業からのスカウトを正しく判断できるか懸念されている学校様が多いようです。

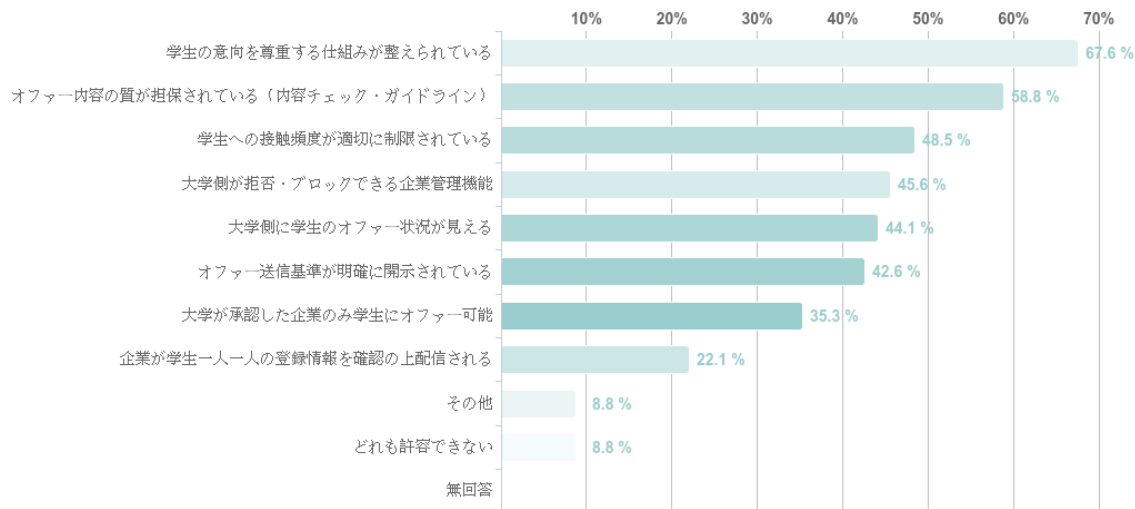
Q. メリットに感じられる点



<サマリー>

「それまで知らなかった企業を知ることができる」「学生の視野を広げることができる」「自分に興味を持った企業があるという経験が、学生の就活へのモチベーションを高める」が上位に。その他、就活期間の短縮や、学業・アルバイトとの両立など、副次的な効果に期待される声もありました。

Q. ダイレクトリクルーティングを学校として「許容できる条件」について



<サマリー>

半数以上の学校様が「学生の意向を尊重する仕組みが整えられている」(67.6%)、「オファー内容の質が担保されている」(58.8%)を選択。

「学生への接触頻度が適切に制限されている」「大学側が拒否・ブロックできる企業管理機能」といった、企業任せにならない運営や機能を求める声も 4 割以上となりました。

ご利用校様の声ピックアップ

当月寄せられたお客様の声をいくつかご紹介します。

機能改修等へのヒントとなりますので、ぜひ毎月のアンケートで皆様の声をお聞かせください。

<ダイレクトリクルーティングに期待する点>

- ・留学や部活動などを理由に、就活プレ期の活動に制限ある学生については、上手に活用できればメリットがある。最低限のルール作りをお願いしたい。(北海道・東北／公立大学)
- ・決してネガティブな問題だけでなく、実際に決まっている学生もいると思いますので大学として「学生への理解」をしっかりとさせる必要があるかと思います。スカウトされたから内定が出るとかそういうものではないということを伝え続けようと思います。(関西／私立大学)
- ・単なる就職活動向けのツールにとどまらず、学生が自己理解や仕事理解を深め、自分らしいキャリアを考えるきっかけとなることを期待します。(北海道・東北／国立大学)
- ・早期内定学生を見て必要以上に不安を感じる学生が一定数おり、不憫に感じる。大学の成績やポートフォリオ等も企業側がきちんと評価してオファーする形ができれば、学生も学業や課外活動等、大学生生活を安心してより充実したものにするのでは。(中国／私立大学)